

すべての怒いを11・4へ！

第17号

2012年10月23日

国際連帯ニュース

動労千葉労働者国際連帯委員会／千葉市中央区要町 2-8 DC会館 e-mail: doro-chiba@doro-chiba.org
International Labor Solidarity Committee of Doro-Chiba (National Railway Motive Power Union of Chiba)

“ベルリン都市鉄道の民営化に反対する行動委員会” で闘うランク&ファイルの労働者たち



今年のメーデーデモを闘う “ベルリン都市鉄道の民営化に反対する行動委員会”

メーデーと6・10国鉄集会で連帯声明の交換

いまベルリンでは、「都市鉄道」（ベルリンと周辺都市間を結ぶ鉄道網）を民営化する計画が推し進められているが、これに反対する鉄道労働者が、GDL（ドイツ機関士労組）をはじめ組合をこえて広範な行動委員会をつくって闘っている。彼らとの国際連帯は、昨年8月の動労千葉国際連帯委員会と全学連の訪独以来のことであるが、今年のメーデーと6・10国鉄集会では心温まる連帯声明の交換にまで発展した。6・10集会への連帯声明では、次ページに紹介するような熱烈なアピールが寄せられた。

その行動委員会の中心は、GDL（ドイツ機関士労組）の現場組合員であるが、GDLとはどのような組合だろうか。

「ストライキ共和国」の原動力

GDLの組合員は、2007年の7月から翌年1月の約半年のストライキによってドイツ階級闘争の前面

に出た。「30%の賃上げと労働時間の短縮（週41時間を40時間へ）」という要求を掲げて、数次にわたるストライキを闘いぬき、都市交通・近距離交通・貨物輸送から、ついに全ドイツの交通を揺るがす62時間全面ストまでも貫徹して、ドイツ鉄道（DB）と対決しぬいた。

ドイツ経団連はマスコミを総動員して「ドイツ経済の国際競争力が損なわれる」と恫喝した。ドイツ労働総同盟（DGB）も他の二つの鉄道労組も、GDLのストを非難し、スト破りさえも指令した。

だが、鉄道労働者はこのストを圧倒的に支持した。「鉄道の要員は1994年から2006年に半分になった。実質賃金は大きく低下し、労働条件は激しく悪化した。一方、ドイツ鉄道の企業利益は05年-07年に3倍化した」という攻撃への怒りが高まっていたからだ。

鉄道ストは、労働者階級に巨大な衝撃を与えた。

多くの職場から「おれたちも続くぞ」「打撃を与えてこそストライキだ」と檄文が集中した。各地のさま



GDLのストライキ（2011年3月4日、ニュルンベルク駅に集まった機関士）

さまざまな労働組合の支部が本部の制止をふりきって、連帯デモ・集会をおこなった。マスコミさえ、「通勤客は60%が支持」と伝えざるをえなかった。

そして、この労働者の大衆的圧力のもとで、ドイツ労働総同盟内最大の労組である統一サービス労組（ver-di）が、ストにふみきらざるをえなくなった。その結果、「ドイツ・ストライキ共和国」と呼ばれる情勢が生まれた。

ドイツ労働者とともに11月集会に参加しよう！

1994年、東西ドイツの国有鉄道が統合され、「全株政府所有の株式会社」としてドイツ鉄道（DB）が発足した。そして、株式売却による完全民営化を狙って、鉄道業務の細分化・分社化（外注化）による鉄道・運輸労働者の分断の攻撃がかけられてきた。GDLの戦闘的なランク&ファイル運動は、民営化と分社化に反対し、また部門ごとに分断された子会社の壁をこえて、統一〔賃金〕要求を提出し、鉄道・運輸労働者の階級的団結を維持・回復することを軸にして闘って来た。

この闘いは、欧州危機と内外の争闘戦の激化に直面して、あくまでも新自由主義の民営化攻撃に延命の道を求めるドイツ支配階級との正面对決になっており、

ドイツ階級闘争の中軸だ。

GDLなど鉄道労組の組合員がつくった“ベルリン都市鉄道の民営化に反対する行動委員会”が今回、11・3国際連帯集会と11・4労働者集会に参加する。ともに闘おう！

“ベルリン都市鉄道の民営化に反対する行動委員会”の6・10国鉄全国集会への連帯のあいさつ

私たち行動委員会は、ベルリン都市鉄道のさまざまな分野で働く男性・女性の鉄道労働者によってつくられています。わが行動委員会は、ベルリン都市鉄道の労働者の状況を協議するために、2011年の12月、所属労組の枠を超えた独立組織として結成されました。私たちは、労働者が全体として活性化することによって、現状打開の道を探ろうとしています。

現在、ドイツ連邦政府・ベルリン州政府・ドイツ鉄道は、伝統的なベルリン都市鉄道を破壊し民営化するプランを進めています。私たちはこれにたいして闘っています。私たちは、全職場を守るために闘うとともに、ベルリン都市鉄道再建に向けた緊急プログラムを2017年までに実施させるために闘っています。

私たちは、旧日本国有鉄道の破壊と民営化にたいして、みなさんがすでに数十年間にわたって闘いぬいてきたことについて、重大な関心をもって注目してきました。

私たちの闘いと共通する点がたくさんあることを確認できます。私たちは皆、全世界的に、企業の攻撃にさらされています。それはますます激しくなっています。企業にとっては、最大限の利潤をあげることだけが関心事で、労働者や乗客、そして地域全体の利害にはまったく関心がありません。

私たちは、みなさんの要求とスローガンに全面的な支持を表明します。

国鉄の分割・民営化反対！

国鉄1047名解雇撤回！

闘う労働組合の復権を！

新自由主義と闘う労働組合の全世界的ネットワークを形成しよう！

11・3 労働者国際連帯集会

千葉商工会議所第1ホール

11月3日 13時開場 13時半開会

11・4労働者総決起集会実行委員会

11・4集会に参加する、韓国・アメリカ・ドイツの労働運動の派遣団、在日・滞日外国人労働者

福島から

11・4 全国労働者総決起集会

新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！

2012年11月4日 正午～ 東京・日比谷野外音楽堂

呼びかけ：

- ・全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
- ・全国金属機械労働組合港合同
- ・国鉄千葉動力車労働組合
- ・国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動